

毛里和子 (Mori Kazuko)

略 歴

2008年4月現在

履 歴

1. 出身地 : 東京都
2. 現 職 : 早稲田大学 政治経済学術院 教授
3. 最終学歴 : 東京都立大学大学院 人文科学研究科修士課程 修了
4. 学 位 : 政治学博士 (早稲田大学、2004年)
5. 主要職歴 : 1965年～1987年 (財) 日本国際問題研究所 研究員・主任研究員
1981年～1983年 在上海日本国総領事館 専門調査員
1987年～1994年 静岡県立大学国際関係学部 教授
1994年～1999年 横浜市立大学国際文化学部 教授
1999年～ 現職 現在に至る

共同研究歴

- ☞2007年度～ 大学共同利用機関人間文化研究機構・現代中国地域研究拠点プログラム・幹事長
- ☞2002～2006年度 文部科学省21世紀COE「現代アジア学の構築」拠点リーダー
- ☞2000～2002年度 文部科学省科学研究費基盤研究A「冷戦史の再検討」代表
- ☞1999～2001年度 21世紀日中関係を展望する日中研究者フォーラム (国際交流基金支援) 代表
- ☞1996～1998年度 文部省科学研究費重点領域研究「現代中国の構造変動」領域代表

学会活動など

- ☞2005年～2006年 現代中国学会 理事長
 - ☞1997年～1998年 日本国際政治学会 副理事長
 - ☞1994年～2004年 アジア政経学会 理事
- その他

受賞歴

- ☞2007年10月 石橋湛山記念財団 第28回 (2007年度) 石橋湛山賞 (『日中関係 戦後から新時代へ』
に対して)
- ☞2007年7月 大同生命国際文化基金 第22回 (2007年度) 地域研究賞 (現代アジア学の構築への貢献
に対して)
- ☞2006年2月 (財) 櫻田會 特別功労賞 (『新版・現代中国政治』2004年に対して)
- ☞2003年11月 紫綬褒章 (地域研究に対して)
- ☞1999年6月 (財) 大平正芳記念財団 大平正芳賞 (『周縁からの中国』1998年に対して)
- ☞1994年12月 毎日新聞社アジア調査会 アジア太平洋賞大賞 (『現代中国政治』1993年に対して)

7.主な著書・論文（1990年～2008年）

単著書

- ①『日中関係——戦後から新時代へ』岩波書店・岩波新書、2006年（韓国語翻訳2006年、中国語翻訳2008年予定）
- ②『新版 現代中国政治』名古屋大学出版会、2004年
- ③『現代中国政治を読む』山川出版社・世界史リブレット、1999年
- ④『周縁からの中国——民族問題と国家』東京大学出版会、1998年
- ⑤『中国現代政治』名古屋大学出版会、1993年
- ⑥『中国とソ連』岩波書店・岩波新書、1989年（韓国語翻訳1990年） など

編著書

- ① Co-edited by Kenichiro Hirano, *A New East Asia—Toward a Regional Community*, National University of Singapore Press, 2007, 238pp.
- ②（森川裕二との共編著）『東アジア共同体の構築④ 図説・ネットワーク解析』岩波書店、2006年
- ③（張蘊嶺との共編著）『日中関係をどう構築するか』岩波書店、2004年
- ④『現代中国の構造変動7：中華世界のアイデンティティの再編』東京大学出版会、2001年
- ⑤『現代中国の構造変動1：大国中国への視座』東京大学出版会、2000年など
など
2000年以前は省略

分担執筆・雑誌論文

- 1.「東アジアの新情勢と日中関係」『民主主義教育21』Vol.2, 2008年5月、206-215頁
- 2.「“平和的崛起”に向かうのか キーワードで読む中国外交」『外交フォーラム』2008年5月号、2008年4月、23-27頁
3. Interview/Kazuko Mori, “China’s impact has yet to be defined,” *The Asahi Shimbun*, March 1-2, 2008
- 4.「現代アジア学への挑戦——21世紀COEを振り返って」『アジア経済』（アジア経済研究所）、第48巻第12号、2007年12月、41-52頁
- 5.「新日中関係と東アジアの地域主義——戦後から新時代へ」『自由思想』（石橋湛山記念財団）、第108号、2007年11月、6-22頁
- 6.「日中関係の再構築のために」川島真編『中国の外交——自己認識と課題』山川出版社、2007年、214-238頁
- 7.「当代中国外交研究のための覚え書」中国現代史研究会『中国現代史』2007年
8. “Designing an East Asian Community: Challenges to Contemporary Asian Studies” in *A New East Asia—Toward a Regional Community*, eds., by Mori Kazuko & Hirano Kenichiro, National University of Singapore Press, 2007, 1-19pp. (Waseda, *COE-CAS Working Papers*, No.46, March, 2007, 45pp)
- 9.「総論—“東アジア共同体”を設計する——現代アジア学の挑戦」山本武彦・天兒慧編『東アジア共同体の構築 I 新たな地域形成』岩波書店、2007年、1-34頁
- 10.「“現代アジア学”への挑戦をふりかえって」『学術の動向』（日本学術会議）2007年6月号、13-17頁
11. “New Relations Between China and Japan: A Gloomy, Frail Rivalry,” *Modern Asian Studies Review*, Vol.2, The Toyo Bunko, Mar. 2007, pp.1-77.

12. “Creating Regions: A Hypothesis Concerning the Possibility of an East Asian Community”, *Asian Research Trends*, New Series, No.1, The Toyo Bunko, 2006.
13. 「中国のアジア地域外交——上海協力機構と“東アジア安全保障共同体”をめぐって」渡邊昭夫編『アジア太平洋連帯構想』NTT出版、2005年、229-246頁
14. 「“東アジア共同体”と中国の地域外交」山本武彦編『地域主義の国際比較』早稲田大学出版部、2005年、65-82頁
15. 「“東アジアコミュニティ”にどうアプローチするか？」『アジア研究』（アジア政経学会）第51巻第2号、2005年4月など
16. 「グローバリゼーションと中国—“帝国論”の視角から」『現代中国研究』（中国現代史研究会）第16号、2005年3月、20-29頁
17. 「グローバリゼーションと中国—移行期の観察」『早稲田政治経済学雑誌』第354号、2004年、14-20頁
18. 「中蘇同盟体制考—1957-59年の政治過程」牛大勇・沈志華編『冷戦と中国的周辺関係』世界知識出版社、2004年、206-230頁
19. “The 16th Congress of the CPC and the Future of Chinese Politics,” Waseda, *COE-CAS Working Paper*, 2004
20. “East Asian Security and Its Non-East Asian Factors,” Waseda, *COE-CAS Working Paper*, No.3, 2003, 11pp
21. 「東亜地区的安全保障と非東亜要素」『世界経済と政治』（中国）、2003年第8期、52-57頁
22. 「16回党大会と中国政治の今後」『国際問題』（日本国際問題研究所）514号、2003年1月、1-16頁
23. “Integrative and Disruptive Forces in Contemporary China,” *China Report* (Center for the Study of Developing Societies, Delhi), Vol. 38-No.3, 2002, pp.385-396
24. 「中国境界学のすすめ」『EX ORIENTE』（大阪外国語大学言語社会学会）第6巻、2002年、267-283頁
25. 「境界学から見た地域・民族・国家」中身立夫編『境界を越えて』山川出版社、2002年、190-212頁
26. 「人文社会科学の振興のために—虚学と実学」『学術月報』（日本学術振興会）2002年11月、1020-1022頁
27. 「現代中国研究50年を俯瞰して」『学術月報』（日本学術振興会）2002年4月号、369-372頁
28. 「地域大国中国とどう付き合うか」亜細亜大学亜細亜研究所編『亜細亜21世紀』亜細亜大学、2002年、9-37頁

2002年以前は省略

翻訳・監訳など

(増田弘との共同監訳)『周恩来・キッシンジャー機密会談録』岩波書店、2004年

(毛里興三郎との共訳)『ニクソン訪中機密会談録』名古屋大学出版会、2001年 その他

国際・海外学会報告と講演（1999年～）

- ★国際シンポジウムでの基調報告（現代中国地域研究拠点プログラム第一回国際シンポジウム）「現代中国研究のパラダイム転換のために」2008年2月2日（早稲田大学）
- ★天津・南開大学での講演「新階段的中日関係」2007年9月24日（南開大学）
- ★北京大学国際関係学院での講演「新中日関係与新東亜合作」2007年9月22日（北京大学）
- ★日本経済研究センター・シンポジウムでの講演「正常化35周年の日中関係を考える」2007年6月12日（日本経済研究センター）
- ★中国・清華大学での講演「從整体結構来理解 新階段的中日関係—兼述早稲田大学的亜州研究概況」2007年3月20日（清華大学）
- ★国際シンポジウムでの報告（COE現代アジア学の創生・最終シンポジウム）「現代アジア学への挑戦」2006年12月3日（早稲田大学）
- ★国際会議での報告（上海社会科学院・国際中国学フォーラム）「新段階の日中関係」2006年9月、上海
- ★国際会議での報告（天津・南開大学）東アジアの協力と日中関係シンポジウム「新段階の日中関係と東アジアの協力」2006年3月、天津
- ★国際会議での報告（COE-CAS現代アジア学の創生主催）「新日中関係と東アジア共同体」2005年12月（早稲田大学国際会議場）
- ★国際会議での報告（上海交通大学主催・日本国際交流基金支援）「東亜合作与中日関係・中日国際研究会」「新段階的東亜合作」2005年11月（上海）
- ★国際会議での報告（台湾中央研究院近代史研究所）「在日本的当代中国研究概観」2005年6月（台北）、
「日本的近10年の中国現代史研究」2005年6月（台北）
- ★国際会議での報告(China-Mongolia-Japan International Workshop “East Asian Integration—Current Situation and Perspectives”, Ulaanbaatar, July5, 2005) (中国語)「新阶段的中日关系与东亚」2005年7月（ウランバートル）
- ★台湾中央研究院近代史研究所での講演「在日本的当代中国研究概観」 「日本的近10年来的中国現代史研究」2005年6月（台北）
- ★ 中国・復旦大学日本研究センター国際シンポジウム「東亜の協力と東亜モデル」での報告、2004年11月（上海）
- ★ 中国・上海社会科学院主催・国際中国学フォーラムでの報告「比較のなかの中国政治」2004年8月（上海）
- ★中国冷戦史国際シンポジウムでの報告「中蘇同盟体制考—1957-1959年の政治過程」2002年8月6日、（中国福建省武夷山）
- ★ 「新段階の日中関係と東アジア」 [日本国際問題研究所・中国国際問題研究所の定期シンポジウムでの報告] 2000年8月25日（札幌）
- ★ 「新段階の日中関係と米国—協調的安全保障は可能か?」 [上海社会科学院との共同シンポジウムでの報告]、1999年9月4日（上海） その他